

関連資料  
ミニ展示  
同時開催

迅速検査研究会は おかげさまで設立 25 周年記念を迎えました！

## 第 50 回記念講演会「迅速検査が今後目指す方向性」

迅速検査研究会 会長 川崎 晋

迅速検査研究会は 2024 年 11 月 21 日(木)、東京のスクエア荏原・ひらつかホールで  
第 50 回記念講演会「迅速検査が今後目指すべき方向性」を開催します。

平成の食品衛生研究、食品安全行政を最前線で牽引された先生方と、これからの  
HACCP 制度の方向性について、存分に意見交換をして頂けます。ぜひ、ご参加ください！



プログラム(予定) 2024 年 11 月 21 日(木)(受付 12:00～) ※講演時間には質疑応答の時間も含まれます。

13:00～	【開会のご挨拶】 迅速検査研究会 会長 川崎 晋 (農研機構 食品研究部門)
13:05 ～13:55	【基調講演】 食中毒菌の検査技術の変遷と迅速検査の今後の在り方 ～ウェルシュ菌、カンピロバクターの検査法の開発を例に～ 迅速検査研究会 名誉会長 伊藤 武 先生 (一般財団法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 学術顧問)
13:55 ～14:45	【特別講演】 平成の食品安全・衛生管理～O157、BSE から食品安全文化まで～ 迅速検査研究会 名誉理事 一色 賢司 先生 (一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問、北海道大学 名誉教授)
14:45～	休憩
15:05 ～15:55	【特別講演】 平成の食品安全行政 40 年を振り返る～HACCP は事業者主体、自主管理の時代へ～ NPO 法人 食品保健科学情報交流協議会 理事長 加地 祥文 先生 (元 厚生労働省 医薬食品局 食品安全部 監視安全課 課長)
15:55 ～16:55	【パネルディスカッション】 進行 迅速検査研究会 会長 川崎 晋、副会長 森 哲也 パネリスト 伊藤 武 先生、一色 賢司 先生、加地 祥文 先生、ほか
16:55～	【閉会のご挨拶】 迅速検査研究会 副会長 森 哲也 (一般財団法人 東京顕微鏡院)

※閉会後も簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

【日時】 2024 年 11 月 21 日(木) 12 時開場、13 時開演

【会場】 スクエア荏原・ひらつかホール (〒142-0063 東京都品川区荏原 4-5-28)

【定員】 会場 350 名

【受講費】 賛助会員・法人会員・特別会員 無料、一般 5,000 円

※受講費・情報交換 参加費は当日お受けいたします。事前振込をご希望の際はご連絡ください。

※事前にお申し込みのない場合でも、講演会・情報交換会への当日参加は可能でございます。

【お申し込み方法】 以下の 7 項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1. ご所属、2. 所属・役職、3. 氏名、4. 住所、5. 電話番号、6. E-mail、
7. 会員／非会員の別 (当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります)

【メール送信先】 info@atp-jinsokukensa.com

【Google Form からもお申し込み頂けます】 <https://x.gd/jWC8a>

QRコードからもお申込みいただけます。



迅速検査研究会 <https://jinsokukensa.com/>

## HACCP 制度化時代の食品安全・衛生管理ご担当者様、必聴の講演会です！！

平成の 30 年間は、食品安全・食品衛生の分野において、歴史的な転換期といえる時代になりました。

1990 年代の腸管出血性大腸菌 O157 食中毒は、国内で HACCP 関連施策が具体化する契機となりました。2000 年代の国内最大規模の黄色ブドウ球菌食中毒や BSE 禍は、食品衛生法の改正、食品安全基本法の制定、食品安全委員会の設立など、食品安全行政の在り方を根底から変える契機となりました。

そして、2018 年には食品安全に関する国際規格の広まりや、関連法規の国際標準化・国内平準化のニーズの高まりなどを背景に、HACCP 制度化を含む食品衛生法の大規模な改定が行われました。

食中毒の発生傾向は、平成初期の腸炎ピブリオ・サルモネラ属菌が上位の時代から、平成後期にはノロウイルス・カンピロバクターの時代に変わりました。それは、食中毒対策の重点が「原材料管理」「工程管理」に加えて、「環境の清浄度管理」へも広がったことも意味しています。

微生物検査の在り方も、培養法をゴールデンスターダートとする在り方は継続しながらも、遺伝子手法や様々な簡便・迅速な検査法、自動化・省力化に寄与する検査法も登場し、その選択肢は大きく広がっています。

今回の講演会では、平成の食品安全・食品衛生の検査、教育、行政施策に最前線で関わった専門家が講演、さらには受講者の皆様と意見交換するパネルディスカッションを行います。

今、食品安全・食品衛生に携わる我々は、過去の知見・経験を踏まえて、合理的・効率的・体系的な食品安全確保、HACCP の在り方を構築していかなければなりません。その中で、簡便・迅速な検査法、自動化・省力化に寄与する検査法は、新たな役割、大きな役割を果たすと考えられます。

食品安全は「温故知新」——平成の知見・経験を総括して、真に実効性のある HACCP の構築・運用・維持管理につなげていただきたいと考えています。

**【会場】 スクエア荏原・ひらつかホール**  
〒142-0063 東京都品川区荏原 4-5-28

【電車】

◇東急目黒線「武蔵小山駅」徒歩 10 分、東急池上線「戸越銀座駅」「荏原中延駅」徒歩 10 分

◇都営浅草線「戸越駅」(A3 出口)徒歩 12 分

【バス】

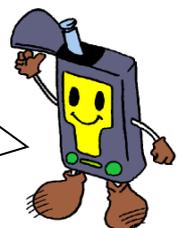
東急バス

◇反 11 / 反 12 五反田駅西口 (8 番のりば)  
⇒「世田谷区民会館」行「平塚橋」下車 徒歩 5 分

◇井 50 / 井 51 東急大井町駅 (b のりば)  
⇒「武蔵小山駅」行「平塚橋」下車 徒歩 5 分



平成の食品衛生研究、食品安全行政の最前線を  
経験された講師の先生方と、これからの HACCP  
制度の方向性について意見交換する機会です。  
ぜひご参加ください！



**【迅速検査研究会 理事団体】**

アツマックス株式会社 ATP ふき取り検査相談センター

AR BROWN Think Quality & Create Value

栄研化学株式会社

経工ルメックス

キッコマンバイオケミファ株式会社

SARAYA

SHIBASAKI

島津ダイアグノスティクス株式会社

SG 株式会社スギヤマゲン

TOA DIK

NITTA

NEOGEN FOSS

M 株式会社 mil-kin

農研機構

東京顕微鏡院

食品と開発

月刊 HACCP